

I N D E X

- JBIC 新会長のご挨拶
- BIO International Convention 2015 報告
- JBIC 成果報告会開催のご案内
- BioJapan 2015 開催とブース出展のご案内
- 第 2 回 IPAB コンテスト:「コンピュータで薬のタネを創る 2」結果発表
- 計算生命科学の基礎 II 遠隔インタラクティブ講義のご案内

■ JBIC 新会長のご挨拶

この度、JBIC 会長に就任いたしました三輪清志です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

JBIC 設立の 2000 年という、ヒトゲノム配列の全容解明によって生物学や創薬プロセスが飛躍的に進展するように期待され、半ば信じられていた時代だったことを思い出します。その後期待されたほどには画期的新薬が世界中で次々出てくるという具合にはなっていませんが、この十数年で、コンピュータ科学と遺伝子配列やタンパク立体構造などの解析技術は想像を超える進歩を遂げ、生物学の方法論はずいぶん変わってきました。まだまだ生命の理の全貌が解明されつつあるというよりは、生命現象が人知を超えてはるかに複雑で奥深いことがわかってきたという段階のようにも見えますが、エピゲノムや機能性 RNA などなど生物学の新しい概念や iPS 細胞、ゲノム編集などの新しい画期的技術も表舞台に登場するに至りました。この間、JBIC はこのような新しい潮流を産業や社会に橋渡しする役割を担って、一定の存在意義を示してきたように思います。

丁度これから、生命科学の進歩によって生み出される莫大な量のさまざまな情報と、情報処理技術の進歩によってその莫大な情報の中から抽出される核心的な知識と情報などが生物学とその創薬等への応用の進展のカギとなる時代にさしかかっているように見えます。また個人の疾患や健康に関する詳細情報を、個人の治療や健康維持に役立たせると同時に、生命科学全体の進歩に役立たせるためにどう扱うべきかというような社会的課題にも直面してくると思われまます。

バイオと情報技術の融合をいち早く旗頭としてきた JBIC にとっては、まさにこれからが出番本番とも言えそうです。JBIC に関わる多くの皆様の益々のご活躍とご協力を得て、JBIC がさらに我が国の成長戦略の一領域の中で重要な

役割を果たして貢献していけるよう、会長として微力を尽くしたいと存じております。何卒よろしくご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、本挨拶は JBIC ホームページにも掲載されております。

<http://www.jbic.or.jp/about/message/>

■ BIO International Convention 2015 報告

今年の BIO 2015 は、米国フィラデルフィアにて 6 月 15 日～18 日に開催されました。フィラデルフィアは、ニューヨークとワシントン DC の中間に位置し、アメリカのヘルスケア発祥の地と言われており、大手製薬企業やベンチャー企業が集積している都市です。

BIO 2015 では企業間のビジネスマッチングに加えて、Personalized Medicine & Diagnostics、Oncology、Digital Health 等の各種セミナーが多数行われ、今年のセミナーのキーワードはオバマ大統領が 1 月 20 日の一般教書で打ち出した Precision Medicine Initiative (以下「PMI」と略す)であり、各セミナーで取り上げられました。今迄の医療は平均的な患者を対象として来ましたが、PMI では個々人の遺伝子、環境及びライフスタイルを考慮した予防及び治療法を目指しており、短期的にはがんを、中長期的にはその成果を踏まえて他の疾患を対象としています。PMI では、全米で 100 万人以上のボランティアを募るとともに、既存のコホート(多くは NIH の資金により運用されている)とも連携する計画です。参加者は統一的に定められた仕様、実施方法により、ゲノムデータ、ライフスタイル及び臨床サンプルを提供し、これらの情報は参加者の電子カルテと連結され、これにより、engaged participants の個人情報を守った上で研究者がデータにアクセスし易い環境をつくる新たな科学研究のモデルを構築する計画です。2016FY 予算が可決されれば、2015 年 10 月 1 日から PMI が開始されます。

セミナーでは、PMI、Personalized Medicine、Digital Health 等言葉は色々ですが、今後の基本的な方向性は、消費者、患者中心主義であると言えます。engaged patient、participant、learn from patient といった言葉に象徴されるように、従来の医療を患者に施すといった考え方ではなく、むしろ、患者こそがゲノム、ライフスタイル等医療・創薬に有益なデータの供給者となる。この傾向は医療の IT 化により更に促進され、患者からの情報発信力が強くなると言えます。

BIO 2015 の詳細な報告については、JBIC ホームページの JBIC 会員専用ページにアップしておりますので、下記から JBIC 会員専用ページをご参照ください。
http://www.jbic.or.jp/members_only/survey.html

■ JBIC 研究成果報告会開催のご案内

JBIC 及び次世代天然物化学技術研究組合が平成 26 年度において実施した

研究開発事業の研究内容と成果を報告する研究成果報告会を下記のとおり開催します。

プロジェクトリーダーの先生方による講演を予定しておりますので、ご期待下さい。プログラム、申込方法等についてはJBICめるまが次号にてご案内させていただきます。

【日時】2015年11月18日(水)13:00～18:20

【会場】日本科学未来館7階「未来館ホール」

【参加費】無料

【定員】300名

【主催】一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム
次世代天然物化学技術研究組合

【報告内容】

1. 福島医薬品関連産業支援拠点化事業に係る研究開発業務
2. 再生医療のための細胞システム制御遺伝子発現リソースの構築
3. 体液中マイクロRNA測定技術基盤開発
4. ITを活用した革新的医薬品創出基盤技術開発
5. 次世代型有用天然化合物の生産技術開発
6. 後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発

■ BioJapan 2015 開催とブース出展のご案内

BioJapan 2015 が 2015 年 10 月 14 日から 3 日間にわたりパシフィコ横浜にて開催されます。世界のバイオ関連企業、関係者が一堂に会するこの機会をお見逃し無いよう、事前登録の上、ご来場ください。

また、JBIC は BioJapan の主催者団体の 1 つとして毎年ブースを出展し JBIC の活動と研究成果を紹介しております。BioJapan へお越しの際は JBIC ブースへも是非お立ち寄りください。皆様のご来場をお待ちしております。

< BioJapan 2015 開催概要 >

【日時】2015年10月14日(水)～16日(金)

【会場】パシフィコ横浜

【主催】BioJapan 組織委員会

【入場料】5,000円(但し、ウェブサイトで事前登録された方は入場無料)

【申込方法】オンライン登録

【プログラム、申込先、その他詳細情報】

BioJapan 2015 World Business Forum

<http://www.ics-expo.jp/biojapan/main/>

【問い合わせ先】BioJapan 事務局

(株式会社 ICS コンベンションデザイン内)

電話:03-3219-3565 FAX:03-3219-3628

E-mail:biojapan@ics-inc.co.jp

■ 第 2 回 IPAB コンテスト：「コンピュータで薬のタネを創る 2」結果発表

JBIC が賛助団体として参加している第 2 回 IPAB コンテスト：
「コンピュータで薬のタネを創る 2」の審査結果が発表されました。

IPAB(特定非営利活動法人並列生物情報処理イニシアティブ)では、IT 創薬を広く浸透させること、IT 創薬のすそ野を広げることを目的として、創薬プロセスの上流であるヒット化合物(薬のタネ)の探索をテーマにオープンコンテストを実施しています。

コンテストには産業界やアカデミアから多様なグループが参加し、7 月 17 日に東京工業大学大岡山キャンパスで第 2 回 IPAB コンテストの発表会・表彰式が開催され、参加した各グループの手法と探索された化合物が紹介されました。

コンテストの概要と審査結果は下記からご覧ください。

コンテスト概要：

<http://www.ipab.org/eventschedule/contest/contest2>

コンテスト審査結果：

<http://www.ipab.org/eventschedule/contest/conetst2results>

本コンテストに関するお問い合わせは下記へお願いします。

【お問い合わせ先】

特定非営利活動法人 並列生物情報処理イニシアティブ (IPAB)

E-mail: office@ipab.org

Tel: 03-5830-3819

■ 計算生命科学の基礎 II 遠隔インタラクティブ講義のご案内

理化学研究所 HPCI 計算生命科学推進プログラムでは、神戸大学計算科学教育センターと共催で「計算生命科学の基礎 II 生命科学と理工学の融合による生命理解と健康・医療への応用」全 15 回の講義を実施いたします。参加無料で事前登録いただければ講義会場からだけでなく、学外からも受講していただくことが可能です。皆さまのご参加をお待ちしております。

【期間】 2015 年 10 月 7 日(水)～2016 年 2 月 3 日(水) 毎週水曜 17:00～18:30

【会場】 神戸大学工学部学舎 1 階 C3-101(創造工学スタジオ 2)

(学外からはインターネットによる受講が可能)

【主催】 神戸大学計算科学教育センター

【対象】 大学生、大学院生・ポスドク、大学教員、研究所・企業の研究者

【費用】無料 ※但し事前登録が必要です。

申込方法、講義スケジュール等の詳細については下記をご覧ください。

<http://www.eccse.kobe-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2015/07/計算生命科学基の基礎Ⅱflyer.pdf>

【お問い合わせ・申込み先】

神戸大学計算科学教育センター
神戸市中央区港島南町 7-1-48

Tel:078-599-6720

ホームページか e-mail でお申し込みください。

ホームページ：http://www.eccse.kobe-u.ac.jp/distance_learning/

E-mail:office@eccse.kobe-u.ac.jp

=====
「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。
JBIC 会員企業で掲載して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。
なお、掲載の可否については JBIC 事務局にて判断させていただきますので予め
ご了承ください。

● JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/contact/>

=====
● 配信中止、変更はこちらから。

<http://www.jbic.or.jp/news/mailmaga/>

=====
● 発行：一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

=====
Copyright(c) 2015 JBIC. ALL rights reserved.